



令和3年11月1日現在
総世帯数 1,389世帯
総人口 2,494人
男 1,191人
女 1,303人

多くの人に支えられて

北源地町会
大野 貴由

まずは、訂正とお詫びを申し上げます。昨年発刊となった、公民館報第133号に「見えない怖さ」として寄稿した中に、「コロナ禍の中、松本駅前で昭和55年から40年頑張った居酒屋が店を閉じた。」「従業員にも申し訳ない。初老の店主はくやし涙を浮かべた。」と非常に残念だと書きました。

原稿を提出したのが4月26日、掲載されたのが5月30日号でした。その間コロナウイルスは益々猛威を振り始めていました。一カ月くらい休業していましたが、なんとその店は、従業員の皆さんの熱い説得に、店主が気持ちよく動かされ「やめるのをやめた」となり、今でも元気に営業を続けています。その店名



は「しんざん」。内装を替えてたり座敷のイス、テーブルを新調しグレードアップしました。是非、足を運んでください。私も心ならずもウソの記事を書いた事になり心苦しく思っていました。よろしくお願ひします。

次は大野屋の話。私の店で毎月20日に開いている会があります。「みんな源地的(ニ)元気かいを掛けています」という名称で毎回三千円持参して、飲んで食べて、語って、笑って時を過ごします。強制

ではありません。来たい時に皆来てくれます。ただ、ひたすら飲むだけです。10月20日第348回を数えました。来年は360回、30年になります。

それでは、乾杯!!

時刻を見ると、現在何と八時十分過ぎ、至急町内の皆さんに知らせないと一大事、主人は町会三役の方に電話して手分けして組長さんへ知らせ各戸に連絡してほしいと説明していました。我が家はこれから食事の準備、水をヤカンや鍋に溜めておかないと、頭がパニックで自分のことばかり考えていました。

発会当時、幸町保育園に通っていた若者も杯を重ねています。物故者の方々にも盃、コップを置き酒を注いでいます。「向うで飲むか、こっちで飲むかだ、同じだわ」と言っていて注いでいます。しかし、向うの方が参加人員より多い時があり少々困っています。よろしければ毎月20日「みんな源地的」に顔を出してください。10月は満月の乾杯となりました。11月は新そば会です。お待ちしています。

夏夜の出来事
宮村一丁目町会
丸山 壽子

八月のお盆過ぎ主人のもとへ、松本市上下水道局から一本の電話がありました。近所で劣化した水道管が破裂したため八時半から断水になるとの連絡でした。何時間断水ですか、と尋ねると時間はわかりませんと言われたそうです。

ちょっと待つて私は隣組長、組の方に連絡しないと、慌ててお隣さんへ行ったり電話したりでもう八時半、そんな時、町内にアパートがあるのに気が付きました。

小雨の中アパートへ行って大家さんに知らせようと思いましたが不在で結局、明りがついているお宅だけ回ることにしました。

家に戻ったらもう九時過ぎそれでもまだ水道は出ていました。一安心です。

結局、深夜まで起きていましたが、断水せずどうしたんでしようと思いましたが、翌朝、上下水道局から無事工事が終わり復旧出来ました。電話がありました。主人が断水が無かったことを伝えると、一時間半ほど断水しましたが、「水道管の中の圧力が高く水道水が沢山あると水を止めても普通に水が出る場所もあります」と説明されたそうです。

今思えば、あの夜の騒ぎは何だったのでしょうか。また連絡されたけど断水しなかった御宅は、さぞ戸惑ったことでも思うことは、組の皆さんへの連絡より自宅の水を優先してしまっただけです。反省しています。



上高地ウォーキング大会

台風が過ぎ去り絶好のアウトドア日和となった10月2日(土)、福祉ひろば事業推進協議会は、公民館と共催し「上高地ウォーキング大会」を実施した。

女性15名、男性9名が参加し、大正池〜田代池〜ウエストン碑経由で最後は、アルペンホテルでの楽しい昼食会で締めくくりとなった。

今回は、パークサービスのガイド加藤さん、若林さんの丁寧な案内により、ゆっくりと散策することができ、初めて参加したという女性も来年も参加したいと話していた。



よく学び、よく遊ぶ、楽しく充実した視察研修

小池町 鴻田 益孝

10月13日、第一地区公民館長会、歴史文化継承委員会、人権啓発推進協議会共催の視察研修を行いました。当日の朝は、小雨がぱらついていましたが、参加者16名は皆明るく元気な様子でした。

テーマは、「茅野市・諏訪市の歴史と文化を探る」です。茅野市尖石縄文考古館と八ヶ岳総合博物館で歴史と文化を学び、その後、諏訪市の原田泰治美術館で絵画を鑑賞しました。

尖石考古館では、二つの国宝(縄文のビーナス、仮面の女神)を見学しました。太古の人達は何と素晴らしい「土偶」を作ったものだと感じました。また、県宝の「信州の特色ある縄文土器」の展示があり、裏庭には、与助尾根遺跡の竪穴式住居が復元されています。中に入ると中央に石で囲まれた丸い炉があり、思ったより内部は広く感じました。

八ヶ岳総合博物館では、弥生時代の土器の展示があり、また地場産業の「信州のノコギリ」の製造や寒天器具の説



明を受けました。堰の開削を行った坂本養川の功績や、堰の仕組みに関する模型、当時の道具の展示もあり興味深いものでした。別室には、「自然を探る」の展示があり、日本力モシカ、熊、オコジョ等100体以上の剥製があり、まるで生きているようでドキドキしながら見学をしました。

よく学んだ後は、「チーズ工房」と魚物が豊富で安い『角上魚類』で心ゆくまで買物をしました。チーズ工房では、お菓子の詰め放題があり、28個も袋に詰めてある豪者がいました。

最後に、諏訪市の原田泰治美術館に行き懐かしい田舎の風景の絵画を鑑賞しました。美術館を出る際には私たちの姿が見えなくなるまで館員に見送られ帰途に

地区防災緑地

一斉清掃の報告

10月16日午前7時より、地区内18町会から集まっていた約90名の皆さんによって、地区防災緑地の清掃が行われました。

草刈りを主にした作業でしたが、たまに『ゴミ、空き缶がなぜ落ちてきているのかな?』と不思議に思いながら1時間ほどの作業を行いました。



つきました。今回の視察研修は、まさしく「よく学び、よく遊ぶ」に充実した楽しい視察研修でした。

すすき川

私は今年高校を卒業して50年になり、9年前に担任の先生の葬儀と中山霊園で納骨のお手伝いをしました。

2年前の2月に一人暮らしの奥様より、自宅を売却し老人ホームに入居を考えているので相談にのって欲しいと電話がありました。

交通の便の良い住宅型有料老人ホームを併設している所を候補に、内覧会と一緒に奥様は弟さん達と相談し熟慮の上契約をしました。

その後、人の手をあまり借りずに豊富な多くの書籍の行く先を決め、持ち込む家具類を最小限に絞り、真冬になる前に入所していきました。

気力、体力があり、自分の意思で決定できる内に終活を行ったことは誠に見事でした。

今年5月には中山霊園の墓じまいの依頼を受け、奥様を含め共同埋葬所に埋葬と墓地改葬の手続きを行いました。

10月26日の先生の立ち日には、跡地に新たな方々の地鎮祭が行われ、翌27日には合葬墓に納骨を済ませました。今年中には墓地も処分され、私の目に見える恩師の思い出が消えていきます。

(筒井)